

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	歴史への扉 (Door to History)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	食と栄養からみる近代イギリス		
担当者名 (Instructor)	高林 陽展(TAKABAYASHI AKINOBU)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016 年度以降 1 年次入学者対象科目		

#### 授業の目標 (Course Objectives)

工業化時代のイギリスにおいて食と栄養が住民の健康状態をいかに規定したのかを探求する。

This course aims to explore how the urban environment influenced its inhabitants' health conditions in modern Britain, particularly focusing on diet and nutrition.

#### 授業の内容 (Course Contents)

20 世紀後半から今日にいたるまで、食と栄養をめぐる、多くの医学研究は、妊娠期の栄養状態の重要性を強調してきた。例えば、妊娠期に基礎代謝を大幅に下回るカロリーしか摂取できなかった場合、糖尿病や精神神経疾患などの発症リスクが高まるという研究がある。成人段階以降に経験する疾病は妊娠期の栄養状態による結果だという示唆がここにはある。栄養状態は時代や地域によって異なるものであり、その結果として疾病の増減も左右されることになる。産業革命が進む 19 世紀イギリスにおいて、人々はいかなる栄養状態のもとにあり、どのような病を経験したのだろうか。この講義では、食と栄養の問題を通じて、近代イギリスにおける人間の生命の質 (QOL) を考えてゆく。

A number of the recent medical researches shed lights on the importance of prenatal nutrition: e.g. prenatal caloric intake less than the basal metabolic rate would increase risks of adult diseases such as diabetes or schizophrenia. It suggests that adult diseases were often the result of prenatal nutrition. Focusing on this problem, this course examines how British people experienced health and disease in the Age of Industrialization.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 生活水準論争
3. 身長と体重の歴史学
4. 食と栄養の疫学
5. 食と栄養の歴史 (1) 概論
6. 食と栄養の歴史 (2) 地理
7. 食と栄養の歴史 (3) 階級
8. 食と栄養の歴史 (4) 女性
9. 食と栄養の歴史 (5) 栄養と病
10. 食と栄養の歴史 (6) 栄養転換
11. 食と栄養の歴史 (7) オランダ「飢餓の冬」
12. 食と栄養の歴史 (8) タンパク質
13. 食と栄養の歴史 (9) 不飽和脂肪酸
14. まとめ

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 (Study Required Outside of Class)

授業時に指定した文献の読解による予習および復習

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

毎回の授業時に提出する小レポート (100%)

#### テキスト (Textbooks)

なし

#### 参考文献 (Readings)

授業内で適宜指示する。

#### その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

